

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0116/200515/05/00	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	下水清掃委託事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	下水清掃委託事業		担当部課名	環境課		
政策名	環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり					
施策名	自然環境		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市全市民				
	誰(何)を対象として	相生市全市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	雨水対策により住みよい生活環境をつくる。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市内の下水路等の清掃委託				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	下水路等清掃委託	地区	22	26	16	20

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.100	0.100	100.0	0.100	100.0	0.100	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,846,208	1,573,434	85.2	1,609,685	102.3	1,558,772	96.8	
	事業費	7,733,013	6,702,753	86.7	5,171,092	77.1	5,500,000	106.4	
	合計	9,579,221	8,276,187	86.4	6,780,777	81.9	7,058,772	104.1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,579,221	8,276,187	86.4	6,780,777	81.9	7,058,772	104.1	
	合計	9,579,221	8,276,187	86.4	6,780,777	81.9	7,058,772	104.1	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		下水路清掃委託							
指標説明(式)		清掃箇所数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	22	26	118.2	16	61.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

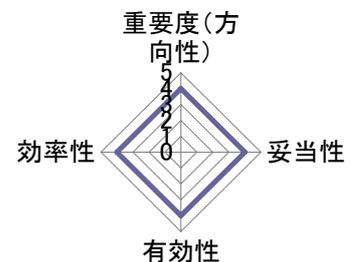
指標名1		清掃箇所1メートルあたりのコスト							
指標説明(式)		下水清掃委託料÷清掃延長							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,901	1,600	84.2	1,600	100.0	1,600	100.0	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	地域の生活環境保全のためには必要な事業である。	4	4
有効性	成果目標(改善)達成度	生活環境保全に貢献できた。	4	4
効率性	コストの節減	事業の執行に当たって計画を立て取り組むことにより、コスト削減を図るべきである。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業の執行に当たって計画を立て取り組むことにより、コスト削減を図る。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市内全域について、公平に行う計画をたて効率よく実施し、コスト削減を図る。
H19→H20予算反映額		△500千円

(2) 20年度の実施方針

市内全域について、公平に行う計画をたて効率よく実施し、コスト削減を図る。

検討の有無	-
総合指標	22